

- 当社は、2024年度放出計画の第6回として、測定・確認用設備タンク（B群）ALPS処理水（約7,800m<sup>3</sup>）の海洋放出を、10月17日午前11時43分から実施しています。
- 放出期間中は、ALPS処理水（トリチウム）の希釈が適切に行われているか毎日確認することを目的に、海水で希釈後の水のトリチウム濃度を分析し、トリチウム濃度が計算上の濃度と同程度であることおよび1,500ベクレル/ℓ未満であることを確認しています。
- また、発電所から3km以内の10地点および発電所正面の10km四方内の4地点においては、海水のトリチウム濃度の分析結果を迅速に得ることを目的に、検出限界値を10ベクレル/ℓ程度に上げた分析を実施し、トリチウム濃度が放出停止判断レベル（700ベクレル/ℓ<sup>※1</sup>または30ベクレル/ℓ<sup>※2</sup>）および調査レベル（350ベクレル/ℓ<sup>※1</sup>または20ベクレル/ℓ<sup>※2</sup>）以下であることを確認しています。

※1 発電所から3km以内の10地点    ※2 発電所正面の10km四方内の4地点    <2024年11月4日までにお知らせ済み>

- 2024年度第6回のALPS処理水海洋放出は、約460m<sup>3</sup>/日の放出量で安定的に推移し、海水中のトリチウム濃度についても、当社が実施する迅速な分析の結果等から、計画的に安全に行われていることを確認しています。
- 測定・確認用設備タンク（B群）からのALPS処理水の移送が、11月3日午後2時58分に終了し、ALPS処理水移送ラインの配管内に残っている水（ALPS処理水）の、ろ過水による押し流しが、11月4日午後0時42分に終了したことをもって、2024年度第6回のALPS処理水海洋放出が完了しました（総放出水量：7,837m<sup>3</sup>、トリチウム総量：約2.4兆ベクレル）。
- 引き続き、ALPS処理水の安全な海洋放出を安定的に実施できるよう、緊張感を持って取り組んでまいります。

- 2024年度第4回のALPS処理水海洋放出完了以降、長期的な点検計画に基づき、設備群毎に順次、測定・確認用設備等を点検する計画としています。
- 第4回放出完了後にC群関連設備を点検しており、第5回放出完了後にA群関連設備を点検しています。
- また、第6回放出完了後には、B群関連設備と合わせて、共通設備（移送・希釈・放水・取水設備）を点検します。
- なお、測定・確認用設備等は、A群、B群、C群の3群で構成されているため、1群が点検中であっても、他の2群を使用することができ、放出計画や工程に影響はございません。
- 点検期間
  - C群関連設備：2024年 8月26日 ～ 2024年11月下旬頃 予定
  - A群関連設備：2024年10月15日 ～ 2024年12月下旬頃 予定
  - B群関連設備：2024年11月 5日 ～ 2025年 5月頃 予定
  - 共通設備（移送・希釈・取水・放水設備）：2024年11月中旬頃～2025年3月上旬頃 予定

## 【参考】2024年度ALPS処理水放出計画（1/2）



- 2024年1月時点における2024年度の放出計画は以下の通り、年間放出回数7回、年間放出水量約54,600m<sup>3</sup>、年間トリチウム放出量約14兆ベクレルを計画しております。
- 2024年度に日々発生するALPS処理水については、測定・確認用設備への移送等で空となったタンクに受け入れていきます（解体予定のJ9エリア等を除く）。

管理番号※3		移送量※4		放出時期
24-1-5	K3エリアA/B群（測定・確認用設備 C群に移送） J4エリアL群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約4,510m <sup>3</sup> : 約3,240m <sup>3</sup>	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 18万～20万 <sup>ベクレル/リットル</sup> ※5 トリチウム総量 : 約1.5兆 <sup>ベクレル</sup>	4～5月
24-2-6	J4エリアL群（測定・確認用設備 A群に移送） J9エリアA/B群（測定・確認用設備 A群に移送）	: 約2,030m <sup>3</sup> : 約5,710m <sup>3</sup>	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 17万～19万 <sup>ベクレル/リットル</sup> ※5 トリチウム総量 : 約1.4兆 <sup>ベクレル</sup>	5～6月
24-3-7	J9エリアA/B群（測定・確認用設備 B群に移送） K1エリアC/D群（測定・確認用設備 B群に移送）	: 約1,800m <sup>3</sup> : 約5,980m <sup>3</sup>	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 16万～18万 <sup>ベクレル/リットル</sup> ※5 トリチウム総量 : 約1.3兆 <sup>ベクレル</sup>	6～7月
24-4-8	K1エリアC/D群（測定・確認用設備 C群に移送） G4南エリアC群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約4,730m <sup>3</sup> : 約3,060m <sup>3</sup>	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 16万～31万 <sup>ベクレル/リットル</sup> ※5 トリチウム総量 : 約1.7兆 <sup>ベクレル</sup>	7～8月

[C群関連設備点検](#)

次スライドへ

※3 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

※4 下線部は実績値を示す

※5 タンク群平均、2024年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値

## 【参考】2024年度ALPS処理水放出計画（2/2）



前スライドより

管理番号※3		移送量※4		放出時期
24-5-9	G4南エリアC群（測定・確認用設備 A群に移送）	: 約6,780m <sup>3</sup> : 約1,000m <sup>3</sup>	二次処理 : 無	8~9月
	G4南エリアA群（測定・確認用設備 A群に移送）		トリチウム濃度 : 30万~35万ベクレル/リットル ※5 トリチウム総量 : 約2.4兆ベクレル	
A群関連設備点検				
24-6-10	G4南エリアA群（測定・確認用設備 B群に移送）	: 約7,770m <sup>3</sup>	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 34万~35万ベクレル/リットル ※5 トリチウム総量 : 約2.7兆ベクレル	9~10月
点検停止（測定・確認用設備 B群タンクの本格点検含む）				
24-7-11	G4南エリアA群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約 800 m <sup>3</sup> : 約7,000m <sup>3</sup>	二次処理 : 無	2~3月
	G4南エリアB群（測定・確認用設備 C群に移送）		トリチウム濃度 : 34万~40万ベクレル/リットル ※5 トリチウム総量 : 約3.0兆ベクレル	

➡ 2024年度放出トリチウム総量 : 約 **14兆**ベクレル

※3 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

※4 下線部は実績値を示す

※5 タンク群平均、2024年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値

- 当社は、2023年8月の放出開始以降、下図に示す枠内の14地点で、迅速に海水中のトリチウム濃度を確認するためのモニタリング（検出限界値10ベクレル/ℓ程度）を実施しております。なお、「放出停止判断レベル（図中記載）」を超えた場合には、海洋への放出を停止します。

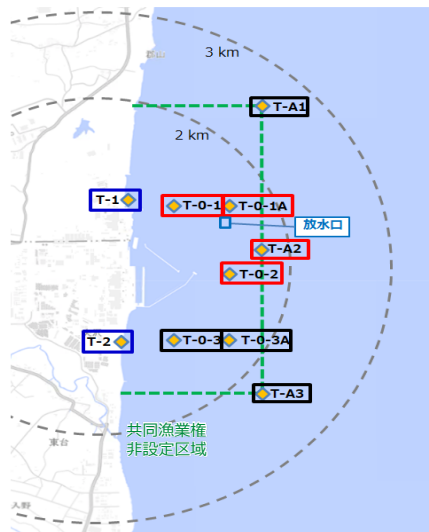


図1 試料採取地点 発電所から3km以内（放水口付近）

□ □ □: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（10地点）  
指標（放出停止判断レベル）700ベクレル/ℓ

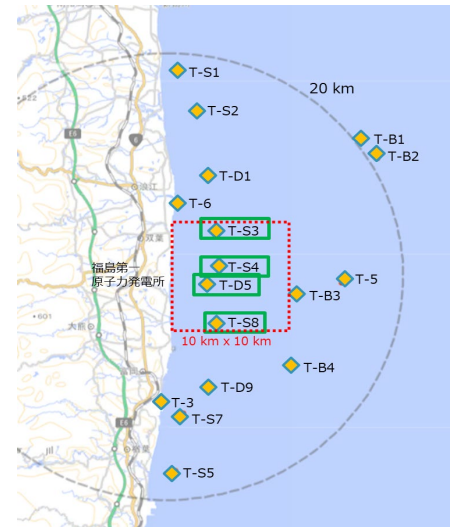


図2 試料採取地点 発電所正面の10km四方内

□ □ □ □: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（4地点）  
指標（放出停止判断レベル）30ベクレル/ℓ

	【図1】発電所から3km以内（放水口付近）		【図2】発電所正面の10km四方内 4地点 □ □ □ □
	放水口周辺4地点 □ □ □ □	その他6地点 □ □ □ □ □ □	
放出期間中および 放出終了日から1週間	毎日※6	週2回※7	T-D5:週1回 T-S3,T-S4,T-S8 : 月1回
放出停止期間中 (放出終了日から1週間を除く)	週1回※7	月1回※7	

※6 放出期間中に荒天のため連続して2日間欠測し、翌日（3日目）も欠測が予測される場合には、3日目はT-1、T-2の迅速に結果を得る測定を行う

※7 2023年8月の放出開始以降、毎日モニタリングを実施してきましたが、放出中の実績等を踏まえ、2023年12月26日からモニタリング計画を変更した  
(2023年12月25日公表)